

# Information

## 平成17年度 講座・講演会のお知らせ

## 図書のご案内

### パートナーシップさいたま開館1周年 ・岩槻市合併記念講演会

お 話 瀬地山 角さん(東京大学助教授)  
 日 時 5月21日(土)14:00~16:00  
 会 場 生涯学習総合センター 多目的ホール  
 対 象 一般  
 定 員 200名  
 費 用 無料

### さいたま市女性カレッジ

日 時 6月21日~11月29日 全18回  
 毎週火曜日10:00~12:00  
 会 場 パートナーシップさいたま  
 対 象 市内在住、在勤、在学の女性  
 (前回受講者は除く)  
 定 員 24名  
 費 用 無料

### 男女共同参画週間記念講演会

お 話 樋口 恵子さん(評論家)  
 日 時 7月2日(土)14:00~16:00  
 会 場 生涯学習総合センター 多目的ホール  
 対 象 一般  
 定 員 200名  
 費 用 無料

申込み方法等詳細は市報をご覧ください。(随時掲載予定)



### 「お笑いジェンダー論」

瀬地山 角:著 2004年(勁草書房)

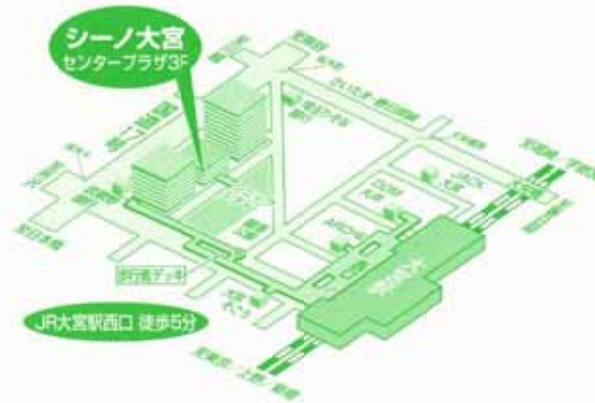
「笑えない問題」のジェンダーを、関西出身の著者が「お笑い」としてわかりやすく語る。どうしても女性問題として糾弾されがちなジェンダーを、男性差別の視点から鋭く指摘。男性の容姿に対する「子ビ・ハグ差別」、女性の理想相手の要件「優しくて頼りがいのある人」の矛盾などには思わず笑ってしまう。今日の社会的な性差が、男性自身も生きにくい社会にしていることを認め、性差を解消し、肩の荷を下ろせば楽になると勧める。家族のためとばかりに馬車馬のように働く男性達に、ぜひ読んでほしい。  
 著者の生の関西弁を聞きたい方は、5月21日の講演会に足を運んでみては。(鈴木 久美子)

### 「子の問題で悩む 親のために」

堀浅るい子:著 1996年(いのちのことは社)



子に対する親の心のあり方を説いている。子どもへの接し方について単なる「このような時にはこうするように」ということではなく、その時に親は「こういう親の心の元に、子どもに対してどのように接する」というように心を基本に説いている。子どもへの悩み生ずるところには親が今まで生きてきた過去が反映されるとある。親という前に人間であるということ、人間は心をもって行動しているということ、その心の動きによって親と子の関係が築かれるということ。そして親も幸せでいようと、何事も内なる心の受け止め方・発信によって関係が築いていけることを感じさせてくれる。著者はクリスチャンであるが、宗教にとらわれない心のありようを教えてくれる。(吉岡 万里子)



### 編集後記

広報誌「鐘の音」vol.4の4号で一年が経ちました。編集員五人、まったく手探りでこのスタートでした。初回含めたいきなり12回ほどに誌名と誌面構成を考えてきたこの冒険にびっぴり、その後の編集会議でも、わざわざ紙面ながら、記事のタイトルや表現の自由を巡って議論を繰り返しました。が、回帰して地固まる、和やかな合議が続けられ、おかげでこの号も、それがいつも残念でなりません。すでに定年退職後の私は、仲間から新鮮な刺激を受けて、自分に打ち込んで来た一年です。二年目に向けてパートナーシップさいたまの「鐘の音」をどう書かせることができるか、行政の担当職員の方とも、今後も随分とやり取りしていきます。男女共同参画社会の実現は市民一人ひとりの意識改革から、まず自分自身から始めようと思いを込めて、古い壁をはがし、私たちも新しい壁の一枚一枚を、古くから広がっていきたくて……「鐘の音」の思いを込めて、この号の編集をお任せしたんです。ごめんなさい。(鈴木 久美子)

パートナーシップさいたま広報誌「鐘の音」vol.4 2005年3月25日発行  
 (編集:発行)パートナーシップさいたま(編集員/鈴木久美子・野田義章・長谷川寛・吉岡万里子・渡部祐子)

さいたま市男女共同参画推進センター  
 〒330-0854 さいたま市大宮区桜木町1-10-18(シーノ大宮センタープラザ3階) TEL.048-642-8107 FAX.048-643-5801  
 E-mail: danjo-kyodo-sankaku@city.saitama.lg.jp



この印刷物は紙の成分100%の再生紙を使用しています

## もくじ

### ○平成16年度 講座報告

~この1年を振り返って~……2,3

さいたま市女性カレッジ

さいたま市男性短期カレッジ

別れなくても別れても 離婚の基礎知識

講座 家族の風景

男女共同参画推進センター事業検討会議を開催

### ○Information……4

17年度 講座・講演会のお知らせ

図書のご案内

編集後記



「パートナーシップさいたま」で  
「こころを響かすまじこころ」

# 鐘の音

## Kane-no-Ne



パートナーシップさいたま  
さいたま市男女共同参画推進センター

(誌名の由来)

大宮の古い地名「鐘塚」に建てられたさいたま市の新しい拠点、「パートナーシップさいたま」から、男女共同参画推進の鐘の音を響かせたい、その願いを込めて名づけました。